

平成24年行政事業レビューシート (法務省)

事業名	バイOMETRICSシステムの維持・管理		担当部局庁	入国管理局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	総務課		総務課長 佐々木 聖子	
会計区分	一般会計		施策名	出入国の公正な管理			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	出入国管理及び難民認定法第6条第3項		関係する計画、通知等	テロの未然防止に関する行動計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>・外国人個人識別情報(バイOMETRICS)システムによる上陸審査の厳格化 国民の生命と安全を脅かすテロリストのほか、偽変造旅券等を利用して繰り返し不法入国する者など、我が国にとって好ましくない外国人の上陸を未然に防止することを目的とする。</p> <p>・自動化ゲートシステムによる出入(帰)国手続の円滑化 出入(帰)国手続の簡素化・迅速化を図り、日本人及び本邦に在留する外国人の利便性の向上に資することを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・外国人個人識別情報システム 上陸審査時に外国人本人から取得した指紋及び顔写真からなる個人識別情報(バイOMETRICS)を、当局が保有する要注意人物リストと照合することによって、より正確かつ迅速な要注意人物の発見が可能となる。なお、照合の結果から要注意人物と疑われる者については、慎重審査に付し、入国を認められない人物であることが判明した場合には、退去強制、退去命令を行うこととなる。</p> <p>・自動化ゲートシステム 個人識別情報(バイOMETRICS)の事前登録を行った日本人及び外国人については、自動化ゲートの通過時に指紋、顔写真及び旅券情報を提供することにより、通常よりも簡易な手続きによる出入(帰)国が可能となる。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	4,085	4,158	4,298	3,456	3,628
		補正予算					
		繰越し等					
	計	4,085	4,158	4,298	3,456	3,628	
	執行額	4,016	4,139	4,215			
執行率(%)	98.3%	99.5%	98.1%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	バイOMETRICSシステムは、テロリスト等、我が国にとって好ましくない外国人の上陸を未然に防止することを目的としていることから、定量的な成果目標を立てることに馴染まない。		成果実績 達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	上陸申請時における外国人本人(特別永住者や16歳未満の者等、一部例外を除く)及び自動化ゲートを利用する日本人からのバイOMETRICS(指紋及び顔写真)の取得・照合件数 [うち自動化ゲート利用人数]		活動実績 (当初見込み) 人数	8,530,363 [368,422]	8,693,751 [745,971]	7,693,514 [806,562]	— (8,078,190)
単当たりコスト	1 バイOMETRICS取得のコスト:548(円/人数) 2 自動化ゲート利用のコスト:70(円/人数)		算出根拠	1 バイOMETRICS取得に係る単当たりコスト= X / Y X = 平成23年度執行額(4,214,997,168円) Y = 平成23年度中のバイOMETRICS取得人数(7,693,514人) 2 自動化ゲート利用に係る単当たりコスト= X / Y X = 平成23年度執行額(56,725,803円) Y = 平成23年度中の自動化ゲート利用人数(806,562人)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	機器賃貸借料	3,126	2,534	個人識別情報システムのサーバ機器等の再リースに伴う減			
	稼働維持委託費	90	97	大型クルーズ船への対応のための個人識別情報システム機器の増配備に伴う増			
	機器保守料	42	70				
	調査研究費	189	0	バイOMETRICSシステムの調査・研究(2か年計画)の終了に伴う減			
	据付等導入費	9	927	個人識別情報システムのリプレイスに伴う増			
	計	3,456	3,628	※「日本再生戦略」関連施策(重点要求) 103			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当局が保有するシステムの維持・管理を行う事業であり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	平成23年度から2か年の国庫債務負担行為による調査研究等を活用して、特に自動化ゲートについて費用対効果の検証等を行い、コスト面等の適正化を図ることとしている。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	△	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度実施した行政事業レビューシートにおいて、当該事業については、「自動化ゲートについて費用対効果を明確にする必要がある。」旨の指摘を受けたところであり、出入国審査全体の中での自動化ゲートの位置付けを見直した上で費用対効果を明確にすべく、バイオメトリクスシステム全体について、将来の在るべき姿に関する調査研究を実施し、その費用対効果の検証等を行い、コスト面等の適正化を図ることとしている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	システム機器等のリースについて、再リース契約を継続するなどして、経費の削減を図るべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	所見のとおり、平成24年10月末をもってリース契約が満了するシステム機器について、平成25年度においても再リース契約を継続することにより、経費削減を図った。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>※平成22年度公開プロセス対象</p> <p>レビューシート番号:0067</p> <p>事業名:バイオメトリクスシステムの維持・管理</p> <p>結果:抜本的改善</p> <p>とりまとめコメント: 公開プロセスにおいては、自動化ゲート(平成22年度:予算額36百万円、執行額39百万円)について費用対効果を明確にする必要があるとの指摘を受けた。これを踏まえ、自動化ゲートについては、現状の設備で、2011年までの利用状況を踏まえ、利便性、コストパフォーマンス等を検証して、その後の配置計画を検討すべきである。また、バイオ関係システム全体の保守経費の見直しを図り、経費の削減を図るべきである。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0067	平成23年行政事業レビュー	0063

※平成23年度実績を記入

法務省

4,215百万円

出入国の公正な管理に必要な物品の賃貸借及び役務の契約

【一般競争入札・随意契約】

A. 日本電機株式会社ほか

4,215百万円

出入国管理業務個人識別情報システム用バイオメトリクス装置等
賃貸借ほか

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 日本電気株			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	バイオメトリクス装置賃貸借料	2,618			
役務費	バイオメトリクスシステムの処理能力向上に係る調査・研究等	410			
計		3,028	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株) (当初入札)	バイオメトリクス的心臓部をなすサーバ群等の機器に係るリース(保守付き)契約	3,028 (2,618)	随意契約	—
2	東京センチュリーリース (株) (当初入札)	バイオメトリクスシステムのバイオメトリクス情報の保存等を行うオープンサーバ機器に係るリース(保守付き)契約	734	随意契約	—
3	パナソニックシステムソリューションズジャパン (株) (当初入札)	バイオ審査に用いる旅券読取装置に係るリース(保守付き)契約	216 (99)	随意契約	—
4	(株)日本総合研究所	出入国審査の在り方に係る調査研究	95	随意契約	—
5	NECキャピタルソリューション(株) (当初入札)	旅券読取装置リース(保守付き)契約	46 (34)	随意契約	—
6	住信・パナソニックフィナンシャルサービス(株) (当初入札)	旅券読取装置リース(保守付き)契約	38 (24)	随意契約	—
7	沖電気工業(株)	自動化ゲートに係る保守契約	23 (13)	随意契約	—
8	芙蓉総合リース(株) (当初入札)	自動化ゲートに係るリース(保守付き)契約	18	随意契約	—
9	日本電子計算機(株) (当初入札)	自動化ゲートに係るリース(保守付き)契約	16	随意契約	—
10	(株)日立製作所	バイオメトリクスシステム用端末のソフトウェア保守契約	0.3	随意契約	—

※支出額の括弧書き, 入札者数及び落札率については, 支出先との契約が複数ある場合, 契約額が最も大きいものについて記載している。